

# 2018-2022年度 新学術領域研究「ハイドロジェノミクス」共催シンポジウム ハイドロジェノミクス－変幻自在な水素を活かすサイエンス

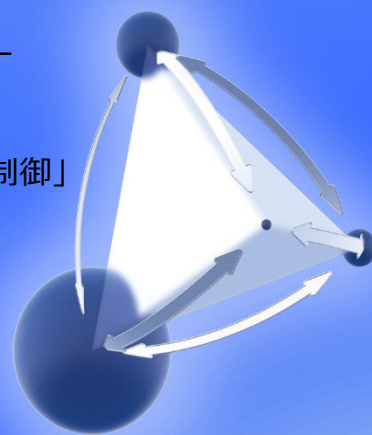
2020年3月16日 (月) 13:30～17:15

日本物理学会第75回年次大会 領域9・領域1・領域7・領域10・領域11

会場：名古屋大学 B41会場

水素を対象とする研究は、物理学会でも多くの領域で行われ、物性科学だけでなく、材料科学、化学、生物に至る幅広い分野にわたっております。水素は、軽元素であるがゆえ実験的な観測が困難であるという制約があり、水素を対象とする研究には未知の部分が多いのが現状です。変幻自在で捉えにくい水素の全貌を明らかにし、新規機能の開拓を目指した最先端の水素に関する研究についてご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 13:30 ～ 14:00 折茂 慎一 (東北大WPI-AIMR/金研)  
「錯体水素化物のリチウム超イオン伝導機能と蓄電デバイス応用」  
－ ハイドロジェノミクスでの挑戦 －
- 14:00 ～ 14:30 清水 亮太 (東工大物質理工)  
「イットリウム酸水素化物薄膜成長と光誘起絶縁体－金属転移」  
－ 薄膜合成・計測・計算を駆使した水素の荷電状態制御による光機能発現 －
- 14:30 ～ 15:00 宮武 健治 (山梨大クリーンエネ研)  
「高プロトン導電性高分子薄膜：分子設計とエネルギーデバイスへの応用」  
－ 次世代の高性能燃料電池への挑戦 －
- 15:00 ～ 15:30 森 初果 (東大物性研)  
「水素と電子のカップリングによる物性制御」  
－ ダイマーモット量子スピン液体から、電荷秩序、  
超伝導まで多彩なカップリング物性 －
- 15:30 ～ 15:45 休憩
- 15:45 ～ 16:15 山内 美穂 (九大I2CNER)  
「高効率物質変換のための無機ナノ粒子の創製」  
－ 持続可能なモノづくりのための新プロセスの創製 －
- 16:15 ～ 16:45 小倉 正平 (東大生産研)  
「金属表面における水素のサブサーフェス拡散・反応制御」  
－ 表面修飾による水素移動制御 －
- 16:45 ～ 17:15 常行 真司 (東大理)  
「計測とシミュレーションの水素データ同化」  
－ 見えない水素を「見る」ために －



ご案内：2020年秋に第2期公募研究の募集を行う予定です。

ご興味のある方は本領域WEBを参考にいただければ幸いです。

新学術領域研究「ハイドロジェノミクス」URL：<https://www.hydrogenomics.jp/index.html>